

教 科	工 業	科 目	製 図
履修条件 対象生徒	選択履修 デザイン科 1 学年		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインに関わる製図の技法や用具・材料の基礎知識を学び、体験を通して理解し、表現技法や制作意欲の向上を図る。 ・立体を平面上に表示する力と平面上に表示された図から立体を把握する能力を養い、それらの技術をデザインの幅広い分野における基礎的技術として活用できるようにする。 ・生産面で使用される工業製図や透視図を基本としたプレゼンテーションなどに使われるレンダリングの2種類の基本を理解し、応用できるようにする。 		
学習方法	<p>[授業] 製図においては、基礎・基本を大切にし、各課題において、その制作の目的を明確に提示する。 用具と用法、製図の基礎、インテリアデザイン、建築製図、エクステリアデザインなどデザイン製図の基礎・基本となる事柄を理解し、その技術を身に付ける。</p> <p>[家庭学習] アイデアスケッチ・エスキース・作品制作の準備などを行う。</p> <p>[補習・その他] 課題が授業時間内に完成しない場合は、放課後や長期休み等を利用して作品を完成する。</p>		
学習計画 と ねらい	<p>< 1 学期末考査まで ></p> <p>(1) 製図と用具 (2) 三角法</p> <p>(3) 製品の図面</p> <p>(4) 透視図法の原理</p>	<p>○製図用具、ドラフターの使用方法などを学習する。</p> <p>○製図に必要な図法のルール（文字・記号の書き方）を学習する。</p> <p>○製図に用いる線の種類・形状・用途等、図面制作を通して学習する。</p> <p>○透視図法（平行透視図法、有角透視図法）の基本について学習する。</p>	<p>○室内透視図について学習し、立体を平面上に表現する方法や陰影を適切に表現する方法を学習する。</p> <p>○校内写生を通して透視図法を用いた空間表現を学習する。</p>
	<p>< 2 学期末考査まで ></p> <p>(5) 室内透視図</p> <p>(6) 校内写生</p>		
	<p>< 学年末考査まで ></p> <p>(7) レンダリングとスケッチ</p> <p>(8) CAD</p>	<p>○透視図、投影図の2種類を理解し、両理論上に基づいて線描き、陰影、材質表現などを加え、視覚的立体化について学習する。</p> <p>○CADアプリケーションを用いた仮想的な空間にモデリングや簡易的なレンダリングの方法について学習する。</p>	
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度
	・図学と製図の基礎的な知識を身につけ、対象物の形や大きさを正確に表す技術を身につけている。	・製作図や設計図に関する課題を発見し、理論的な根拠に基づき立体を平面上に表現する思考を身につけている。	・製品の図面の作成及び平面図面から情報を読み取る力や表現する力の向上を目指して自ら学び、主体的かつ協動的に取り組む態度を養おうとしている。
評価方法	<p>○評価の観点：「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的な評価を行う。</p> <p>○授業では、発表や話し合いなどの言語活動、レポート、演習への取組など生徒の主体的な活動を重視する。</p> <p>○制作では、制作意図、制作過程、自己分析、鑑賞などの取り組みを重視する。</p> <p>○以上を総合的に判断して評価する</p>		